

江別第一中学校 学校だより

# 純誠



## 教育目標

- ・自ら進んで学び未来を創造する生徒
- ・豊かな心を持ち互いに協力して生活をもつ生徒
- ・強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

令和2年 6月1日号 第5号

## 乗り越えよう

江別市立江別第一中学校  
校長 新田 元 紀

### ◎ 再開と3密の回避

学校が再開されました。江別市は「『新しい生活様式』を踏まえた学校の行動基準」による「地域の感染レベル」は「1」ということで、学年や学級を分散した形での登校を経ないでの再開となります。

北海道の6月は、さわやかな風が吹き新緑がまばゆい、1年で最も素敵な季節だと思っています。ただ今年は、新型コロナウイルスがまだに影を落としています。

再開と再会の喜びを表す友達や仲間同士のハグもハイタッチもできないスタートです。学校生活において「3密回避」（「換気」「ソーシャルディスタンスの確保」「マスク着用」等）をしていかなければなりません。

### ◎ 感染リスクの高い活動について

前述した「地域の感染レベル1」である江別市では、「感染症対策を講じてもなお感染リスクの高い学習活動（生徒同士の密集、接触する活動、近距離で大きな声を出す活動等）」についても、可能な限り感染症対策を行った上での実施を検討することになります。

ただ、札幌市と隣接している地域としては、今しばらくは感染リスクの高い活動はできないと考えています。したがって、合唱や調理実習、グループワーク等は、今年の中期から後期に行うことにしています。

### ◎ 学習の遅れについて

この新型コロナウイルスは、直接生命を奪っただけではなく、大きな爪痕を残しています。

経済に与えた影響は計り知れませんが、それは今後さらに顕著になるものと思われます。

もちろん、爪痕は教育現場にも大きく残っています。これほどの長い臨時休校はかつてないことで、学習の遅れを取り戻すことが急務になります。夏冬休みの縮小、土曜授業の実施、行事の精選などで対応していかなければなりません。しかし、それらは児童生徒にとって楽なことではありません。できる限り負担を軽減していこうと考えています。

### ◎ 中体連、中文連について

部活動に所属している生徒や保護者の皆さんにとって、極めて残念なお知らせをしなければなりません。

マスコミ報道等でご存じの方も多いと思いますが、全国・全道中体連大会の中止を受け、管内・市内大会の中止が正式に決定されました。中文連の発表会も同様に中止となっています。

私自身も中学、高校、大学と部活動をやってきました。各級段階で最後の大会に向けて汗をかき、涙を流してきました。

教員になってからは顧問として部活動に関わってきました。中学校3年生が大会を通じて心身共に大きく成長する姿を見てきました。終わった後の美しい涙を見てきました。

一般的な「今まで頑張ってきたことは無駄にならない。次に向かって努力しなさい。」「次がある。高校がある。」などという言葉を受け入れられるものではないと理解しています。

自分自身に置き換えるまでもなく、胸が張り裂けそうな思いです。でも、あえて言わせてください。「乗り越えよう」と。

皆さんの今までの努力は、強く、美しいものでした。引退するその日まで努力を重ねてください。そして、次の目標を定めてください。それが、あなたの人生を絶対に輝かせてくれます。